

孫子の代まで誇れるまちづくり!

わたくしは、正しい情報を伝達し、地域が受けた行政サービス提供・改善に努め地域に開かれた、地域に信頼される、地域に愛される、「江戸川区」を目指します。

江戸川区議会議員



野崎まこと



江戸川区
LINE公式アカウント
友だち募集中



江戸川区では、LINE公式アカウントを開設し、令和3年9月15日(水曜日)にサービスを開始しました。LINE公式アカウントでは、防犯防災情報やイベント情報の他、利用者が選択した興味のあるジャンルに合わせた情報の配信も行います。また、メニューからは、区ウェブサイトから手軽にアクセスできます。ぜひ友だち追加してご利用ください。

江戸川区議会 自由民主党

令和4年度 予算特集号

江戸川区版



宇田川都議と共に江戸川区を前に!

令和3年
決算特別委員会
で意見を
述べる



まずはコロナ対策、今だからこそ前に進もう

問 ①コロナ後を見据えた、公共私連携と地方公共団体の広域連携が必要と考えるか。

答 ①「観るスポーツ」を充実させることで、区外からの観戦者による消費拡大効果やサポーター等による新たなコミュニティ創出も期待できる。スポーツを通じた地域の活力向上について、区長の考えは、

答 ①区民のみならず、地域に関わる様々な担い手との連携や他自治体との広域連携は、重要である。区職員をはじめ、区全体でその意識を共有しながら、コロナ後のより良い地域社会に向けた取り組みを展開していきたい。

②駅前広場の更なる活用や、再開発事業地区の道路と民有地の一体化により、魅力的で賑わい溢れるコミュニティを創出していきたい。

③「観るスポーツ」の充実を図ることは、地域経済への波及効果や地元チームへの愛着向上等が期待できる。

今後も「観るスポーツ」を通じた地域の活力向上に努めていきたい。

問 脱炭素社会実現への取り組みについて。

答 ①脱炭素社会実現の意味・課題について。

②実現に向けた具体的な取り組みについて。

③SDGsの目標13番「気候変動に具体的な対策を」も踏まえ、本区が目指すべきゴールについて、どのように考えているのか。

答 ①本区は水害により、地球温暖化に伴う気候変動の影響を真っ先に受ける地区であり、脱炭素社会の実現に向け、区民や事業者が「自分事」として取り組んでいく必要がある。

②これまで区民・事業者・行政が一体となって、温室効果ガス排出の削減に取り組んできた。今年度、気候変動適応センターを設置し、気候変動適応計画の策定も進めており、今後も緩和策・適応策ともに取り組んでいく。

③行動を起こすことで先人たちが築き上げた素晴らしい江戸川区を次世代の子どもたちに引き継いでいく。それを本区のゴールと考えている。

問 水害対策について。①2019年の台風19号の際、区民の避難行動は正しかったか。また、区民に望むことは、流域ごとの治水の理解と避難方法については、更なる工夫が必要では。

答 ②スマートフォンの活用による防災リテラシーの向上について、区長の考えは。

③区民の防災レジリエンスやリテラシーを向上させる必要があると考えるか。

④災害時の水の確保について、区長の考えは。

答 ①避難情報が正しく理解されなかった事象もあり、検証を重ねながら改善に取り組んできた。本区の水害ハザードマップには、河川ごとの情報が掲載されており、区民がそれぞれの事象を理解することが重要である。今後もあらゆる機会を通じて啓発していきたい。

②現在開発を進めている、本区の防災ポータルや防災アプリを活

令和3年第4回定例会・一般質問

用し、区民の安全・安心を高めていきたい。

③平時に防災の情報を収集し、自分のものにしておくことが重要である。今後も災害時に自分の身を守る行動ができるよう、区民にしっかりと伝えていきたい。

④区では水害ハザードマップにより、大規模水害時には2週間水が引かないことを踏まえ、広域避難を呼びかけている。それでも自宅に留まる場合には、2週間分の備蓄を勧めている。

問 特殊詐欺防止対策について、現在、どのような対策をしているのか。また、自動通話録音機給付の対象条件の緩和や有償対応等について、区長の考えは。

答 自動通話録音機の給付事業に加えて、本年9月より、地区を指定して防災行政無線を活用した呼びかけを行っている。給付の対象条件の緩和等については、これまでの成果を見極めていきたい。

問 ヤングケアラー支援について。

①ヤングケアラー支援の現状について。

②区内の各部署が連携して対応することが重要であると考えるか、区長の考えは。

答 ①自分自身がヤングケアラーであるという認識がない場合が多い。本人と周囲がそのことに気づくことが重要であり、子どもの気持ちを尊重しながら対応していく必要がある。

②福祉・介護・医療・教育等の様々署・機関との連携が非常に重要であり、連携を強めながら、子どもたちの権利が守られるよう、支援していきたい。

《 Profile 》

昭和35年7月7日葛西生まれ
区立第二葛西小学校 卒業
安田学園中学・高校 卒業
中央大学商学部会計学科 卒業
税理士事務所に勤務後、
現在有限会社栄喜 取締役社長 現在に至る

《 歴 任 》

長島町会青年部長、第22期第二葛西小学校PTA会長
第二葛西小学校評議委員
第二葛西小学校すくすくスクールセンター長
TOKYO 自民党政経塾 第9期生

《 区 議 会 》

当選回数・在職年数 / 2回・6年目
在職期間 / 平成27年5月2日～現在
生活振興環境副委員長 / 平成28年5月～平成29年5月
福祉健康副委員長 / 令和2年5月～令和3年5月
財産価格委員会委員長 / 令和元年5月～令和3年5月
文教委員会委員長 / 令和3年5月～令和4年5月

野崎まこと事務所

〒134-0088 江戸川区西葛西6-8-13
アヴァンセ西葛西2F(有) 栄喜内
Tel : 03-3869-8125 Fax : 03-3869-8286
Gmail : nozaki007707@gmail.com